

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス
 コード番号 5988 URL <http://www.piolax.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理グループリーダー (氏名) 郷原 慎一 TEL 045-731-1211
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	29,431	11.7	4,339	26.9	4,761	23.4	3,338	19.6
26年3月期第2四半期	26,340	4.3	3,420	8.5	3,857	10.2	2,792	22.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,046百万円 (△35.0%) 26年3月期第2四半期 4,684百万円 (120.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	268.36	—
26年3月期第2四半期	224.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	77,566	65,371	82.8
26年3月期	75,865	62,737	81.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 64,234百万円 26年3月期 61,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
27年3月期	—	27.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	6.9	7,800	3.1	8,500	0.7	5,700	△0.4	458.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	13,084,700株	26年3月期	13,084,700株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	646,155株	26年3月期	646,117株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	12,438,565株	26年3月期2Q	12,438,641株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
(参考資料)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかに回復基調にあるものの、新興国市場の成長鈍化や消費税率引き上げによる影響、急激な円安の進行による原油価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、消費税率引き上げによる影響が懸念されましたが、国内生産台数は4,782千台と前年同期比0.8%の増加となりました。このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルな拡販活動を継続的に推進した結果、連結売上高は29,431百万円と、前期比3,091百万円(11.7%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、連結営業利益は4,339百万円(前期比26.9%増)、連結経常利益は4,761百万円(前期比23.4%増)、連結四半期純利益は3,338百万円(前期比19.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

グローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は27,708百万円(前期比12.0%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加え収益改善活動を推進したことにより、営業利益は4,626百万円(前期比25.2%増)となりました。

(医療機器)

開発販売した新製品が好調に推移いたしました結果、売上高は1,723百万円(前期比8.1%増)となりましたが、この4月に実施された保険償還期間の影響に加え、販売促進費等の固定費が増加したことにより、営業利益は68百万円(前期比25.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、有形固定資産、投資有価証券の増加等により1,701百万円増加し、77,566百万円となりました。

負債合計は、買掛金、未払法人税等の減少等により933百万円減少し、12,194百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により2,634百万円増加し、65,371百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益4,761百万円および減価償却費1,518百万円等の収入要因に対し、法人税等の支払額2,143百万円および有形固定資産の取得による支出2,794百万円等の支出要因の結果、前連結会計年度末と比較して134百万円(0.8%)増加し、当第2四半期連結会計期間末には15,952百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は増加したものの、法人税等の支払額の増加等により2,547百万円の収入(前年同期比34.3%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により2,322百万円の支出(前年同期比35.4%減)となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、225百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により92百万円の支出(前年同期比29.4%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、消費税率引上げ後の国内自動車販売減少の影響を北米を中心に海外の自動車生産の好調が下支えした結果、増収増益になりました。第3四半期連結会計期間以降の販売、生産動向を踏まえて、現時点で予想可能な範囲で通期の業績予想を見直しましたので修正いたします。

なお、為替レートにつきましては、下期は1米ドル=105円を想定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月12日発表)	百万円 56,600	百万円 6,900	百万円 7,500	百万円 4,600	円 銭 369 82
今回発表予想(B)	58,500	7,800	8,500	5,700	458 25
増減額(B-A)	1,900	900	1,000	1,100	—
増減率(%)	3.4	13.0	13.3	23.9	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	54,712	7,566	8,441	5,722	460 06

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,767	16,435
受取手形及び売掛金	13,763	13,909
有価証券	187	187
商品及び製品	3,933	4,146
仕掛品	1,574	1,654
原材料及び貯蔵品	1,521	1,527
その他	2,200	2,306
貸倒引当金	△48	△47
流動資産合計	39,900	40,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,019	4,855
機械装置及び運搬具(純額)	7,572	7,086
工具、器具及び備品(純額)	1,888	2,137
土地	5,159	5,155
リース資産(純額)	70	65
建設仮勘定	1,768	3,184
有形固定資産合計	21,478	22,484
無形固定資産		
のれん	9	7
その他	904	864
無形固定資産合計	913	872
投資その他の資産		
投資有価証券	12,278	12,842
その他	1,294	1,247
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,573	14,090
固定資産合計	35,965	37,447
資産合計	75,865	77,566

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,467	2,969
短期借入金	778	944
未払法人税等	1,847	1,088
賞与引当金	775	780
その他の引当金	35	31
その他	3,381	3,358
流動負債合計	10,286	9,173
固定負債		
引当金	109	153
資産除去債務	18	18
その他	2,714	2,849
固定負債合計	2,842	3,021
負債合計	13,128	12,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,696
利益剰余金	54,426	57,353
自己株式	△710	△710
株主資本合計	59,373	62,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,084	1,397
為替換算調整勘定	1,427	773
退職給付に係る調整累計額	△248	△236
その他の包括利益累計額合計	2,263	1,934
少数株主持分	1,099	1,136
純資産合計	62,737	65,371
負債純資産合計	75,865	77,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	26,340	29,431
売上原価	19,009	20,768
売上総利益	7,331	8,662
販売費及び一般管理費	3,910	4,323
営業利益	3,420	4,339
営業外収益		
受取利息	15	26
受取配当金	15	21
持分法による投資利益	309	366
その他	122	122
営業外収益合計	463	536
営業外費用		
支払利息	2	32
デリバティブ評価損	—	51
固定資産廃棄損	6	12
賃貸収入原価	5	4
その他	11	13
営業外費用合計	26	114
経常利益	3,857	4,761
特別利益		
受取補償金	334	—
特別利益合計	334	—
税金等調整前四半期純利益	4,192	4,761
法人税等	1,380	1,380
少数株主損益調整前四半期純利益	2,811	3,380
少数株主利益	19	42
四半期純利益	2,792	3,338

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,811	3,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	211
為替換算調整勘定	1,555	△589
持分法適用会社に対する持分相当額	248	43
その他の包括利益合計	1,873	△334
四半期包括利益	4,684	3,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,671	3,009
少数株主に係る四半期包括利益	13	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,192	4,761
減価償却費	1,357	1,518
のれん償却額	0	1
持分法による投資損益(△は益)	△309	△366
デリバティブ評価損益(△は益)	△26	51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	48	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	43
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	5
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△31	△47
支払利息	2	32
固定資産廃棄損	6	12
売上債権の増減額(△は増加)	△1,490	△343
たな卸資産の増減額(△は増加)	354	△433
仕入債務の増減額(△は減少)	673	△464
その他	△27	△159
小計	4,760	4,606
利息及び配当金の受取額	86	117
利息の支払額	△2	△32
法人税等の支払額	△968	△2,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,875	2,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△845	—
定期預金の払戻による収入	—	512
有形固定資産の取得による支出	△2,525	△2,794
有形固定資産の売却による収入	15	6
無形固定資産の取得による支出	△137	△23
投資有価証券の取得による支出	△102	△2
その他	0	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,596	△2,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	213
借入金の返済による支出	△77	—
少数株主からの払込みによる収入	384	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△352	△288
少数株主への配当金の支払額	△17	△13
その他	△7	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71	△92
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206	134
現金及び現金同等物の期首残高	15,049	15,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,255	15,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	24,745	1,594	26,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	24,745	1,594	26,340
セグメント利益	3,696	91	3,788

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,788
全社費用(注)	△386
セグメント間取引消去	24
その他の調整額	△5
連結損益計算書の営業利益	3,420

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	27,708	1,723	29,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	27,708	1,723	29,431
セグメント利益	4,626	68	4,694

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,694
全社費用(注)	△378
セグメント間取引消去	30
その他の調整額	△6
連結損益計算書の営業利益	4,339

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は平成26年11月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として、以下の通り、本公開買付けを行なうことを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 530,100株 (上限)
- (3) 株式の取得価格の総額 2,253百万円 (上限)
- (4) 取得期間 平成26年11月11日～平成27年1月30日

3. 自己株式の公開買付けの概要

- (1) 買付け等の期間 平成26年11月11日～平成26年12月9日
- (2) 買付け等の価格 1株につき金4,252円
- (3) 買付け予定数 530,000株
- (4) 買付け等に要する資金 2,277百万円

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,819	4,062	5,318	1,140	26,340	—	26,340
(2)セグメント間の内部売上高	2,224	20	536	3	2,785	△2,785	—
計	18,044	4,082	5,854	1,144	29,126	△2,785	26,340
営業利益	2,779	282	371	125	3,558	△138	3,420

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,865	5,225	6,403	1,936	29,431	—	29,431
(2)セグメント間の内部売上高	2,519	20	824	8	3,373	△3,373	—
計	18,385	5,246	7,228	1,944	32,805	△3,373	29,431
営業利益	2,802	679	639	275	4,396	△57	4,339